

令和5年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名	加古川市立平岡東幼稚園
------	-------------

1 教育目標 自分で考え行動する 心やさしい子の育成

2 基本方針
幼稚園の生活の中で自ら心を動かす物事に会い、遊びに取り入れたり、また友達と一緒に工夫したり考え合ったりしながら遊ぶ楽しさを味わい、主体的でたくましく生きる力を育む。

3 指導目標

(1)のびのびと活動し、あきめずにチャレンジする子 (2)自分の思いを伝え、素直に表現する子 (3)様々な人とふれあい、相手の気持ちを感じる子

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで挨拶をする。 ・早寝早起きをし、朝食を食べる。 ・自分でできることは自分でしようとする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣確立のためにカードを活用したことで、保護者と共に規則正しい生活への意識付けになった。 ○身辺自立や自己管理(荷物の準備、荷物を持つ、時間や約束を守るなど)、自分のことは自分でしようとする自立にむけた意識は園だけ、本人だけの課題ではないことは理解していたが、保護者の意識の差も大きく、個別に対応や支援がより必要であった。
豊かな体験を通して主体的に活動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・思う存分身体を動かして遊ぶ。 ・身近な自然に興味関心を持ち、取り入れた遊ぼうとする。 ・自分なりの目標をもって色々な運動遊びに取り組み、達成感や満足感を味わう。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○運動遊びでは、運動会に向けての遊びだけでなく、身に付けたい力(体力・持久力・瞬発力・踏ん張る力・体幹など)を意識し、年間を通じて遊びを計画すしていきたい。 ○地域の方の協力で近隣の花畑やミカン狩りなど地域の自然に目を向けることができた。園内でも様々な草花や果物の収穫など恵まれた環境を最大限に活かせるよう教師が意識し保育に取り入れていく。
様々な人とかかわる中で愛情や信頼感、自己肯定感を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や身近な人に親しみ、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする。 ・友達の思いに気付き、受け入れて遊ぼうとする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○園児数が年々減少し、集団生活を維持できるための望ましい人数が確保できなくなっている。未就園児との触れ合いや地域の方との交流は今の園児にとっては貴重な場である。今後も交流の場を計画し、人と関わる中で様々な感情体験をさせたい。 ○自分の思いを伝える前に、経験不足や語彙量の少なさから言葉で意思疎通するのが難しい幼児が多かった。読み聞かせや教師や友だちとの会話、言葉に関する遊びを意識的に増やす必要があった。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
・生活習慣が確立されていなかった幼児がカードの活用でできるようになった。また、就学に向けて時間を決めて行動する力にもつながったと思う。保護者へカードの利用の意図を周知し、引き続き協力を依頼してほしい。	A
・クッキングや畑への散策など、家庭ではできない体験は幼児の主体性につながる良い機会であるので、範囲で今後も取り組んでほしい。	A
・園児数の減少で交流の機会が減ることは仕方がないが、親以外の大人との関わりで愛情を感じられる十分な経験をしていると思う。年長年少共に交流する環境を積極的に作ることで互いに成長するのではないか。これからも友達同士をつなぐ関係作りだけでなく、職員が一人一人の幼児に向き合い、気持ちを受け止める活動をお願いしたい。	A